

科目区分	専門教育科目	科目名	保育と音楽表現		科目コード	50104	担当者	白石景一・中村浩美・中嶋浜子・村田実智代・宮崎洋子・鶴川佐由美・内田誠・村川千佳・大野陽子・寺谷陽子・吉田智子		
対象学生	幼児教育学科2年生	学期区分	通年	単位数	2	卒業要件	選択			
						免許・資格要件	幼稚園免許必修 保育士資格必修			
科目の主題						成績評価の方法と割合				
音楽の幅広い感性・知識・技能を育成し、音楽を通じて保育を实践する上で、音楽の理解・知識・技術を持って保育の様々な場面で適切に展開できる素養を身につける。						テスト (50%) 受講態度 (50%) レッスン記録用紙の提出 (20%)				
科目の到達目標						教育目標に基づく学修成果の到達目標				
						誠実な人柄と人間力(尽心)	高度な知性と創造力(創造)	明確な意志と実践力(実践)		
1.	ピアノの基礎技能を習得し、保育現場での「生活の歌」の弾き歌いを音楽的に表現できる。						○			
2.	「季節の歌」や様々な「子どもの歌」の伴奏や弾き歌いを子どもが歌いやすいよう配慮して演奏できる。							○		
3.	笑顔で子どもにわかりやすく手遊び歌ができる。							○		
4.	ピアノ連弾を体験し、アンサンブルの基礎を学ぶ。					○				
5.	表情豊かに明るく楽しく歌うことができる。							○		
授業方法										
ピアノによる個人レッスンとグループ指導により展開する。したがって各自の教則本および各自の進度により授業内容は異なる。以下に示す数字は授業回数ではなく、ある程度の段階・項目・内容でありこのような項目・内容を30回の授業の中で継続的に習熟するよう努める。										
準備学修 (予習、復習等に必要時間または具体的な学修内容)										
一週間の練習の成果を基に成立する実技科目であるため、レッスンでの課題を毎日の練習で積み重ね、その結果を基に次のレッスンに望み確認修正を受ける。										
授業計画										
第1回	子どもの歌と伴奏法の引き継ぎ 春休みの課題成果の確認				第16回	簡易伴奏(コード奏法など)での子どもの歌弾き歌い 各自のエチュード 子どもの歌				
第2回	各自のエチュード				第17回	↓				
第3回	子どもの歌 (季節の歌 生活の歌 行事の歌)				第18回	↓				
第4回	いろいろな音楽遊び・手遊び歌				第19回	↓				
第5回	↓				第20回	いろいろな子どもの歌				
第6回	↓				第21回	↓				
第7回	↓				第22回	↓				
第8回	↓				第23回	↓				
第9回	↓				第24回	↓				
第10回	↓				第25回	↓ ピアノ連弾				
第11回	↓				第26回	↓ ↓				
第12回	↓				第27回	↓ ↓				
第13回	↓				第28回	↓ ↓				
第14回	↓				第29回	↓ 演奏発表				
第15回	↓				第30回	弾き歌いと伴奏法のまとめ				
教科書:						※実技科目であるので、一週間の練習の成果を基に成立する。				
「こどものうた200」(チャイルド本社)						※レッスンには筆記用具(鉛筆)各自の「レッスン記録」を持参すること				
小林美実編						※第一回目の授業には現在使用中の各自のエチュードと「子どもの歌と伴奏法」受講のレッスン記録を持参すること				
「続こどもの歌200」(チャイルド本社)						※第一回目のレッスンは2階の音楽室に集合すること				
小林美実編						※ピアノ室の使用は遵守事項を守り美化に努めること				
参考書(教則本):										
ツェルニー、ソナチネアルバム、ソナタアルバム 他										